

Open Com

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

大阪厚生年金病院

<http://www.okn.gr.jp/>

大阪府がん診療拠点病院



大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者



「働きやすい病院」認定病院(第1号)

●につけい子育て支援大賞受賞

●女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

オープンコム

No. 27
2011. 7

開放型病床をもつ開かれた病院として、地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、心かよう安心の医療を目指します。



【東日本大震災】医療支援活動報告.....02~04

部長紹介.....05

当院の実力.....06~07

眼科編

後期臨床研修医の紹介.....08

外来治療センター

リニューアル オープン.....09

トピックス.....10

地域医療連絡会が開催されました

中尾ミエさんの可愛い Ba~Ba トークショー

患者情報室「ラヴェンダー」ニュース.....11

かかりつけ医さんこんにちは.....12~13

いしみ歯科

前谷耳鼻咽喉科クリニック

前田ファミリークリニック

三上クリニック第一分院

患者相談室 Open Wind.....14

当病院の活動内容を掲載している記事.....15~17

各種教室・公開講座・院内の公開講座.....18~19

【東日本大震災】医療支援活動報告

このたびの東日本大震災で被災されました多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

2011年5月までに、大阪厚生年金病院から被災地（宮城、岩手）に医療チームを3班派遣し、医療支援活動をおこなってきました。今後も被災地のニーズを受けながら継続した医療支援活動をおこなっていく所存です。

厚生年金医療救護チーム第2班活動報告

診療局長 内科部長 横山 建二

厚生年金医療救護チームの一員として、東日本大震災の被災地の一つである石巻に、4/10～4/18の間、行ってきました。

院長先生や副院長先生方から『命を粗末にせずに、ちゃんと帰ってこいよ』という雰囲気の激励のお言葉を頂いて、複雑な気持ちで出発しました。

宮城県では、予想されていた宮城県沖地震への対策のために、石巻赤十字病院外科部長を宮城県災害医療コーディネーターに知事が委嘱し、被災後の医療体制を構築できるように今年1月には実務担当者ネットワーク協議会を立ち上げ、法的にも対処できるように準備されていました。ところが、石巻医師会・航空自衛隊松島基地などの多くの協議会参加メンバーが被災してしまったため、当初の構想とは大きく異なった対応を取らざるを得なくなったとのことでした。

震災前に救急を担当していたのは、石巻市立病院と赤十字病院でしたが、海寄りの市立病院が壊滅的状態になったため、ありとあらゆる患者さんが震災直後より赤十字病院にいられたそうです。石巻赤十字病院は「東北一活気のある病院」がキャッチフレーズの病院で、院内で「急患帳」という研修医マニュアルを作成しているほど活気のある病院です。

私たちのチームが派遣された時には、石巻赤十字病院災害対策本部からの指令によって医療活動をするこ

ていました。避難所巡回をおこなうものと思っていたのですが、各地の赤十字病院チームや自衛隊など、すでに医療チームが70チームも参加されていたため、赤十字病院内の夜間の院内救急をおこなうことになりました。震災後の救急とはいっても、避難所で発熱された方、風邪・下痢の人など、当院の救急とあまり変わりはありませんでしたが、中には、殉職した警官の妻がPTSD



研修医マニュアル「急患帳」

を発症して来られるといった例もありました。病院に勤務されている看護師や事務の方の中にも被災されて、避難所から病院に通勤されている人たちがおられると聞いて、頭が下がりました。

1日だけ避難所巡回をさせてもらいましたが、被災区域



業務ミーティング



チームと（後列中央が横山部長）



ボランティア活動先の電器店前で（右端が横山部長）

によって全く様相が異なっており、ライフラインが全て復帰している避難所もあれば、電気のみしか復帰していない避難所もありました。避難所の仮設トイレはすべて和式で、お年寄りにはかなり大変だろうと感じました。また、ボランティアとして1日だけ民家の片づけに参加しましたが、家の床にこびりついた泥や瓦礫の運び出し、水が浸み込んで開かなくなった箆笥の廃棄など、5人がかりで5時間ほどかかってようやく片づくぐらいの状態でした。

「震災後みんな優しくなって、話したこともなかった人ともよくお話するようになりました」と、片付けをした家のおばさんが話されていたのが印象的で、以前のような生活に一日も早く戻って欲しいと感じました。

厚生年金医療救護チーム第3班活動報告

臨床検査科部長（内視鏡センター担当） 道田 知樹

4月17～25日に、厚生年金病院医療救護チーム第3班として、宮城県石巻市の医療支援活動に従事しました。

今回も、石巻赤十字病院を中心に、約50の医療チームが加わった、「石巻圏合同救護チーム」に参加しての活動でした。このシステムは極めて画期的で、一病院の医療の枠を超えて、多くのボランティア医療チームの役割分担も調整し、さらに機能不全に陥った市の保健行政を肩代わりし、避難所の衛生状態の把握もして、役所に対策を提言するという行政の役割までも担っておりました。

医療支援業務は、避難所での診察と、石巻赤十字病院救命救急センター（ER）での診療があり、前者は、患者数も減り、今後は衛生指導に重点が置かれそうでしたが、後者は、患者数がまだまだ多く、近隣医院が再開され、仮設住宅が建つまで、支援の継続が望まれます。

私達の仕事の内容は、院内支援として、準夜帯のER活動のうち、自力で来院される、黄色タッグの患者さんの担当でした。医師、看護師、薬剤師、事務の6名のチームと



湊中学校診療所にて（前列右より）道田部長（医師）、西看護師、地元ボランティア、（中列右より）九州病院医師、大橋看護師、（後列右より）辻川薬剤師、荒尾事務員

して参加していたため、この部門の幹事を任されていました。診療では、広域なプライマリ・ケアが求められましたが、主な疾患は、①感染症（風邪、感染性腸炎）、②外傷、③持病の悪化でした。受診される方は、被災のためか、通常より不安が強く、普段以上に笑顔で、「大丈夫」というメッセージを伝えられるよう心がけました。

避難所の湊小学校診療所も、1日だけ巡回しました。未だに、電気・水道に加え、下水道も機能せず、

おまけに満潮時には冠水するという、劣悪な環境で、今後は粉塵による呼吸器障害も懸念されます。ただ、この日はちょうど入学式で、一張羅を着た新一年生とお母さんの出席する中、桜も満開、鯉のぼりもたなびいていました。

“応援”診療でしたが、気がつけば、チームの同僚、赤十字病院の先生方、被災で職を失い臨時パートとして一緒に働いた方、そして患者さんからも、たくさんの元気を分けていただき、東北の方々がとっても好きになっておりました。



湊小学校の鯉のぼり

（支援班3班）看護師として継続した医療支援の必要性

看護師 大橋 康平

震災、津波により大きな被害を受けた地域である石巻市へ医療支援に向かいました。赤十字病院周辺は地震のみの被害で、建物の倒壊などはあまり見られず、店舗が営業していました。しかし津波による被害を受けた地域では、まるで戦後の写真のような光景であり、かろうじて道が整備されていますが、街が機能していない状態でした。

そのような中、石巻赤十字病院のERで赤、黄色にトリアージされたうちの主に黄色エリアの患者さんへの診療の介助にあたりました。患者さんは被災に関連した症状が多く、粉塵による呼吸器疾患、瓦礫の撤去や自宅の整理中の外傷、内服薬が確保できず症状が悪化して来られる方がいました。なかには自家発電機を灯油で使用し、一家8人が一酸化炭素中毒で救急搬送される症例もありました。このように、救急受診患者数は通常の1.5倍とまだまだ多く、

今後復興が続く中で継続して医療支援しなければならないと感じました。

一方、避難所では電気、水道が使用できないところもあり、劣悪な環境下での生活を余儀なくされており、自衛隊による貯水タンクやトイレの設置、企業からのソーラーパネルの提供など様々な支援がおこなわれていました。避難所の診療所はニーズが少なくなってきたり、今後縮小化され、保健指導などの環境整備へ移行していく様子でした。

今回の医療支援で思ったことは、復興には年単位で時間がかかり、その間このような支援を続けていかなければならないということです。医療支援も今だけでなく、その都度現状に合わせおこなっていく必要があると思いました。

(支援班3班) 薬剤師として東北の方々の心の温かさ、辛抱強さに心打たれて

薬剤師 辻川 正彦

厚生年金病院医療救護チーム第3班に参加させて頂きました。年金チームとして薬剤師の参加は今回が初めてで、被災地の医療現場でどんな役割を果たせるのか、私自身とても不安でした。

支援先は石巻赤十字病院で、黄色エリア ER の準夜勤帯を担当しました。震災発生後1ヶ月が過ぎていましたが、まだ100名近く、被災された方が受診に来られました。

今回私はER内で、主に「処方内容のチェック」、「院内の薬剤師からの疑義対応」や、「患者さんへの薬の説明」など、事務業務を手伝いながらおこないました。処方の問い合わせがあっても処方医が見つからずER内を探し回ったり、処方された薬が在庫切れのため代替え薬を処方医と相談したり、医師から薬についての質問を受けるなどしました。また、応援の医師は院内のシステムに不慣れなため、院内処方をしたはずが院外処方オーダして、患者さんを2時間以上待たせるトラブルも発生しました。しかし、その患者さんは一言も文句も言わず帰られたのには驚きま

した。

1日だけ避難所での診察にも同行し、被災者の気持ちや震災の生々しさを感じることができました。

今回、ERで活動する事になりましたが、チーム医療の大切さを実感しました。

支援活動の中で被災者と色々と話をする機会もあり、中でも宮城弁を覚えてもらったことが思い出になりました。その宮城弁を1枚の用紙にまとめ、ER内のスタッフに配布したところ、患者さんとの会話に「シャマス（方言で困る）」事が少なくなったと喜ばれました（他の方言として、「恥ずかしい」は「オショスイ」、「捨てる」は「ナゲル」などなど……）。

東北の方の心の温かさ、素朴さ、辛抱強さを肌で感じ、これからも、何らかの形で応援していきたいと思いました。



支援活動中の3班チーム



厚生年金病院支援医療チーム 2班から3班への引継

大阪厚生年金病院医療支援活動派遣一覧（2011.5現在）

派遣期間	派遣地		当院の派遣メンバー	主な活動内容
2011年 3月26日～ 3月29日	宮城県 石巻市、塩釜市	日本看護協会 災害支援ナース派遣 第9班（32名）	西 美和（看護師） 大槻 徹（看護師）	福祉避難所（ディケアセンター）、避難所中学校にて看護ケア、介護ケア、感染予防・衛生管理指導 ※現地の保健師、介護スタッフと連携をとり指導的役割を果たす。
2011年 4月11日～ 4月17日	宮城県 石巻市	厚生年金病院 医療救護チーム 第2班（7名）	横山 建二（内科医師）	石巻赤十字病院内で夜間救急、避難所巡回医療活動 ※日赤チームリーダー医師より厚生年金病院チームはまともがあるとほめていただいた。
2011年 4月18日～ 4月24日	宮城県 石巻市	厚生年金病院 医療救護チーム 第3班（6名）	道田 知樹（内科医師） 西 美和（看護師） 大橋 康平（看護師） 辻川 正彦（薬剤師） 荒尾眞希朗（事務員）	石巻赤十字病院内で準夜勤帯救急、避難所巡回医療活動 ※他の医療支援チームは2、3日の短期間交替だったため厚生年金病院チームは多数の支援チームを院内で統括、指導する役割も任される。

部長紹介

当院気鋭の部長をご紹介します

(掲載順) 氏名の五十音順です



赤丸 祐介

外科
(内視鏡外科担当)

専門分野 上部消化管（食道・胃）の手術および化学療法
腹腔鏡手術（胃・胆嚢）
消化器内視鏡、内視鏡的胃瘻造設術も担当

●経歴（略歴）

1993年 大阪大学医学部卒業
2002年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了
2003年 大阪厚生年金病院 外科医長
2011年より現職

●資格等

外科学会専門医・指導医／消化器外科学会専門医／消化器病学会専門医／内視鏡外科学会技術認定医（胃）／がん治療認定医

●診療にあたっての信条、モットー

術前の病態把握、適応検討から始まり、安全確実で低侵襲な手術、そして周術期管理、化学療法を含む術後治療まで、これらすべてを総合的に判断して最適の治療を施行させて頂けるように努めます。

●メッセージ

胃癌治療に関しては、早期癌には腹腔鏡手術、進行癌には術前術後に化学療法を組み合わせた手術と、個々の病状に応じた治療を提供します。腹腔鏡の胆嚢手術は、今後もさらに適応を拡大していきます。栄養サポートチーム委員長を務めており、栄養に関する相談も受け付けています。



板谷 浩志

眼科
(網膜担当)

専門分野 網膜硝子体手術

水晶体・眼内レンズ脱臼に対する手術

●経歴（略歴）

1993年 大阪大学医学部卒業
2005年 関西労災病院眼科
2008年 国立病院機構大阪医療センター眼科
2010年 淀川キリスト教病院眼科
2011年より現職

●資格等

日本眼科学会専門医／PDT 認定医／日本医師会認定産業医／日本職業・災害医学会認定労災補償指導医

●診療にあたっての信条、モットー

診察室内で、患者さんにとって話しやすい雰囲気を作ることを心がけて診療しています。心をひらいてもらい患者さんから質問をしていただき、十分な理解が得られれば信頼につながると考えています。

●メッセージ

網膜硝子体疾患の手術治療を専門としています。その領域の一部として水晶体脱臼、眼内レンズ脱臼などの眼内レンズ縫着手術には特に興味をもって取り組んでいます。適応症例がありましたらご紹介よろしく願いいたします。



小笠原 延行

循環器内科
(血管内治療担当)

専門分野 心血管カテーテル治療、閉塞性動脈硬化症治療

●経歴（略歴）

1995年 香川医科大学医学部卒業
1995年 国立病院東京医療センター
2000年 東大阪市立総合病院
2005年 大阪警察病院
2010年 大阪厚生年金病院 循環器内科医長
2011年より現職

●資格等

日本循環器学会 循環器専門医／日本内科学会総合内科専門医、内科認定医／日本心血管インターベンション学会指導医

●診療にあたっての信条、モットー

急性期循環器疾患に対する迅速な対応。個々の患者さんのバックグラウンド、社会背景も考慮に入れた適切な治療。

●メッセージ

《患者さんへ》当院は総合病院でその特性を生かし、さまざまな疾患を併発している患者さんも診療可能です。ちょっとしたことのお悩みやご相談をお受けいたしますのでいつでもご来院ください。《かかりつけの先生方へ》循環器救急ホットラインを開設いたしました。いつでも、お待たせすることなく、ダイレクトに開業医の先生から患者さんのご相談、診察の依頼を受けることが可能です。胸痛、動悸、呼吸困難等をお持ちの患者さんでお困りの際は、お気軽にお電話ください。



川島 貴之

耳鼻咽喉科
(耳科担当)

専門分野 耳科学、神経耳科学、耳科手術

●経歴（略歴）

1992年 徳島大学医学部卒業
1992年 埼玉医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科
1996年 大阪大学医学部附属病院耳鼻咽喉科
1997年 箕面市立病院耳鼻咽喉科
2000年 友誼会総合病院耳鼻咽喉科
2006年 大阪大学医学系研究科耳鼻咽喉科助手
2011年より現職

●資格等

耳鼻咽喉科専門医／補聴器適合判定医

●診療にあたっての信条、モットー

「医は仁術なり」をモットーに、日常診療にあたるようにしています。「医学」だけではなく、患者さんを中心に考えた「医療」に常に携わってきたいと思っています。

●メッセージ

耳鼻咽喉科一般の診療はもちろんですが、専門の耳疾患に対しては特にきめ細かい診療を心掛けています。真珠腫性中耳炎は再発しやすい疾患なので、できるだけ再発しにくい安全な手術方法を選択するようにしています。



栗田 聡

麻酔科
(クリティカルケア担当)

専門分野 麻酔全般、主に心臓大血管手術麻酔、集中治療、救急

●経歴（略歴）

1989年 大阪市立大学医学部卒業
1989年 大阪市立大学医学部麻酔・集中治療医学教室入局
1991年 淀川キリスト教病院 麻酔科
1993年 大阪市立大学医学部麻酔・集中治療医学教室助手
1998年 大阪市立大学医学部附属病院救急部助手
2005年 大阪厚生年金病院 麻酔科医長
2011年より現職

●資格等

麻酔科標榜医／麻酔科指導医／救急医学会専門医

●診療にあたっての信条、モットー

麻酔科は中央部門であり、他の診療科や部署との連携が不可欠です。手術などの高度医療は一人ではできません。複数の診療科の医師や、看護師、臨床工学士などと共同でリズムよくこなすことが、一番安全に、患者さんの満足のいく医療を提供できると信じております。

●メッセージ

心臓大血管手術の麻酔をはじめとした高侵襲の麻酔や重症管理、集中治療管理を専門としております。患者さんが一番大変な時に尽力させていただきます。



大黒 伸行

主任部長

専門 眼炎症疾患（ぶどう膜炎）、黄斑疾患、眼循環疾患

経歴 1988年 大阪大学医学部卒業

資格 日本眼科学会専門医

日本眼科学会指導医

日本眼科学会評議員

高齢化の進む社会において眼科領域では特に加齢に伴う疾患に対処することがますます重要になっています。加齢性疾患の代表である白内障に対する治療では通常の小切開手術はもとより、水晶体脱臼、亜脱臼症例あるいは眼内レンズ移植眼での脱臼症例に対しての眼内レンズ縫着術を低侵襲で積極的におこなっております。また、緑内障に対する確立された診断・治療も従来どおり継続しており、ぶどう膜炎等の炎症性疾患に対しても精力的に取り組んでおります。さらに、2011年4月より網膜疾患に対して広く手術で対応できるようになりました。現在小切開硝子体手術が標準となっており手術侵襲も従来とは比較にならない程度まで抑えられていることも多く、患者さんの負担も少なくなっています。

糖尿病網膜症、黄斑上膜といった頻繁にみられる疾患に対しては不可逆的な変化になる前に短期間入院で早期手術をおこなっており、網膜剥離、感染による眼内炎、眼球破裂などの緊急手術が必要なものも随時対応しております。一方、加齢黄斑変性に対するルセンティス硝子体注射も導入しており、薬剤に対する反応のよい症例では良好な成績が得られております。このように、多岐にわたる得意分野を有しておりますので、難症例につき相談いただきましたら高いレベルでバランスのとれた治療を提供させていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

診療内容（診療対象疾患）

※ 詳細については当院のホームページ <http://www.okn.gr.jp/> もご覧ください。

眼科疾患全般	
白内障	老人性白内障、続発性白内障、先天性白内障
緑内障	原発開放隅角緑内障、原発閉塞隅角緑内障、正常眼圧緑内障、発達緑内障
ぶどう膜炎	ベーチェット病、原田病、急性網膜壊死、眼悪性リンパ腫、強膜炎、その他すべての眼炎症疾患
網膜硝子体	加齢黄斑変性、近視性黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜循環障害

特色

- **白内障**：早期視力回復、早期社会復帰を目標に、小切開手術をおこなっています。
 - ・緑内障等の合併症や水晶体脱臼例などの難治例にも対応しています。
 - ・手術までの待ち日数はできるだけ短くなるよう、1か月以内におこなえるようにしています。
 - ・患者さんの希望に合わせて通院手術（日帰り）や1～3泊入院が選択できます。
 - ・白内障手術のほぼ全例が小切開の超音波手術で、乱視が少なく、出血が少ない手術、早期社会復帰を目指しています。
 - ・リーガロイヤルホテルとのタイアップにより、手術当日は送迎付きリーガロイヤル宿泊プランもご利用いただけます。
- **緑内障**：正しい病型診断に基づいた治療方針に沿って、点眼治療、レーザー治療、手術治療の適否を決定しています。
 - ・必要に応じて眼圧日内変動測定もおこない、治療方針の決定に役立てています。
- **ぶどう膜炎**：採血検査や画像診断に加え、原因不明のぶどう膜炎については前房水PCRや硝子体生検をおこない、原因解明をはかっています。
 - ・ベーチェット病に対するレミケード治療、眼悪性リンパ腫に対するメトトレキサート硝子体投与など最先端治療もおこなっています。
- **網膜硝子体**：加齢黄斑変性をはじめ、新生血管黄斑症に対する抗VEGF治療を積極的におこなっています。
 - ・網膜動静脈閉塞症や糖尿病網膜症に対しても薬物治療、レーザー治療及び硝子体手術を総合的におこなっています。

● スタッフ紹介



板谷 浩志 部長（網膜担当）

専門 網膜硝子体手術、水晶体・眼内レンズ脱臼に対する手術
経歴 1993年 大阪大学医学部卒業
資格 日本眼科学会専門医
 PDT 認定医
 日本医師会認定産業医
 日本職業・災害医学会認定労災補償指導医



八幡 健児 医長

経歴 1997年 鳥取大学医学部卒業
資格 日本眼科学会専門医



松田 弘之 医長

経歴 1999年 愛媛大学医学部卒業
資格 日本眼科学会専門医



斎藤 禎子 医長

経歴 2000年 大阪大学医学部卒業
資格 日本眼科学会専門医



辻野 知栄子 医長

経歴 2002年 兵庫医科大学卒業
資格 日本眼科学会専門医



川井 恵理子 医長

経歴 2004年 近畿大学医学部卒業
資格 日本眼科学会専門医



桑村 里佳 医師

経歴 2005年 島根大学医学部卒業



奥野 賢亮 医師

経歴 2006年 富山大学医学部卒業



患者さん、一般の方への メッセージ・お願い

- 眼科では待ち時間が長くなりご迷惑をおかけしております。初めての方や久しぶりに受診される方はお近くの眼科の先生から紹介状をもらってきていただくと有り難いです。事前に地域連絡室で予約をお取りいただくと、より一層スムーズな診療につながります。



かかりつけ医の先生への メッセージ・お願い

- 病診連携をより一層進めていきたいと思っております。情報の共有化に今まで以上に努めてまいりますので、お困りの症例がございましたら、お気軽にご紹介ください。



眼科専門医を 目指す臨床研修医の皆さんへ

- 当院では眼炎症・網膜硝子体・緑内障について専門的な研修を受けることが可能です。症例も豊富ですし、興味のある方はぜひ一度見学に来てください。

2011 年度 大阪厚生年金病院 後期臨床研修医の紹介



塩出 悠登 医師
(大阪大学出身)
内 科



藤本 拓 医師
(大阪大学出身)
内 科



南 聡 医師
(大阪大学出身)
内 科



村井 一裕 医師
(大阪大学出身)
内 科



辻田 麻友子 医師
(大阪大学出身)
小児科



金尾 世里加 医師
(兵庫医科大学出身)
産婦人科



佐柳 潤一 医師
(山口大学出身)
整形外科



藤戸 稔高 医師
(福岡大学出身)
整形外科



大久保 悠祐 医師
(山口大学出身)
外 科



谷口 嘉毅 医師
(神戸大学出身)
外 科



松浦 玲 医師
(大阪大学出身)
外 科



西前 綾香 医師
(奈良県立医科大学出身)
乳腺・内分泌外科



亀井 利沙 医師
(兵庫医科大学出身)
皮膚科

外来治療センター リニューアル オープン

2011 年 4 月 4 日から外来治療センターがリニューアルオープンしました。
治療ブースも増え、きれいになり、ゆったりと治療を受けていただけるようになりました。



病院の理念・基本方針・患者さんの権利と責務

(1) 病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

(2) 地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む 24 時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に 24 時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対しても集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・聴覚・皮膚等の疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 麻痺・痛み等に対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

(3) 患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 患者さんの病名その他の個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんの診療に支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

看護部の理念

患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、
生活の質を高める看護を実践するとともに、
人を癒し、人を活かす職場づくりに努めます。

地域医療連絡会が開催されました

平成 23 年 1 月 29 日（土）、リーガロイヤルホテル（山楽の間）において、平成 22 年度の地域医療連絡会が開催されました。

連絡会の開催前には「平成 22 年度 第 4 回地域医療支援病院運営委員会、開放型病床運営委員会、地域医療研修委員会」が別室にて開催され、外部委員の先生方より貴重なご意見を伺いました。

連絡会は、山崎芳郎病院長挨拶の後、学術講演会としてハルタ眼科の春田恭照先生の座長で、大黒伸行眼科部長より「眼炎症疾患の診断と治療」、藤田クリニックの藤田俊作先生の座長で、宮田哲内科部長より「糖尿病治療の激動時代を迎えて」の講演がおこなわれ、地域の先生方より多くのご質問があり、講演に対する関心の深さが感じられました。その後、診療科部長紹介、懇親会へと進みました。懇親会では、日頃、直接お話する機会が少ない当院の医師と地域の先生方とが和やかに意見交換をおこなっておりました。

これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるように努力していきたいと思っております。

地域の先生方には、今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

（地域医療連絡室 北山 幸子）



中尾ミエさんの可愛い Ba ～ Ba トークショー



皆様「可愛いベイベー」のヒット曲でご存知の方も多いと思いますが、中尾ミエさんが当院に来られてお話をしてくださいました(2011年2月21日)。

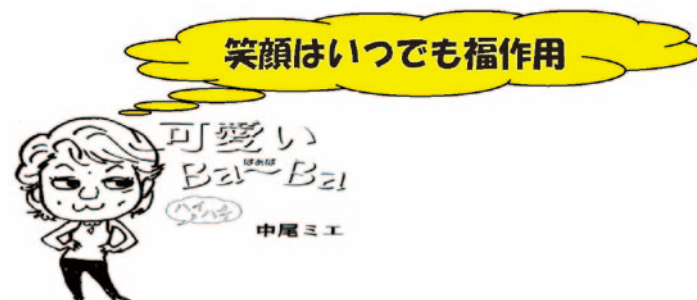
中尾ミエさんは真っ赤なジャケットで登場され

ましたが、ちっとも体型もお変わりなく、還暦を過ぎておられるとは思えないぐらいに元気いっぱいでした。

中尾さんは、60 歳過ぎて何か社会の中で自分にもできることはないかと考えられて、介護施設などの訪問をされたり、「ヘルパーズ～あなたがいる風景～」という介護ミュージカルで介護ヘルパーの大変さややりがいを皆様に紹介しています。

お話では、誰でも年がいく、老人になったからといって暗くなるのではなく、明るく元気でプラス思考を持つことが一番大切で、「楽しいと思うことを見つける、笑うことが健康にも良いので、無理してでも笑うようにしましょう」と話されました。

とっても明るくて、お話を聞いている私たちが自然と笑ってしまう、元気をいただくトークショーでした。



患者情報室 Lavender News 「ラヴェンダー」ニュース

ラヴェンダーに行きたいけれど、
行き方がわかりにくいという声を
よくお聞きします。そこで、今回は写真入りの
大きな地図を掲載しました。
皆様のご利用をお待ちしています。



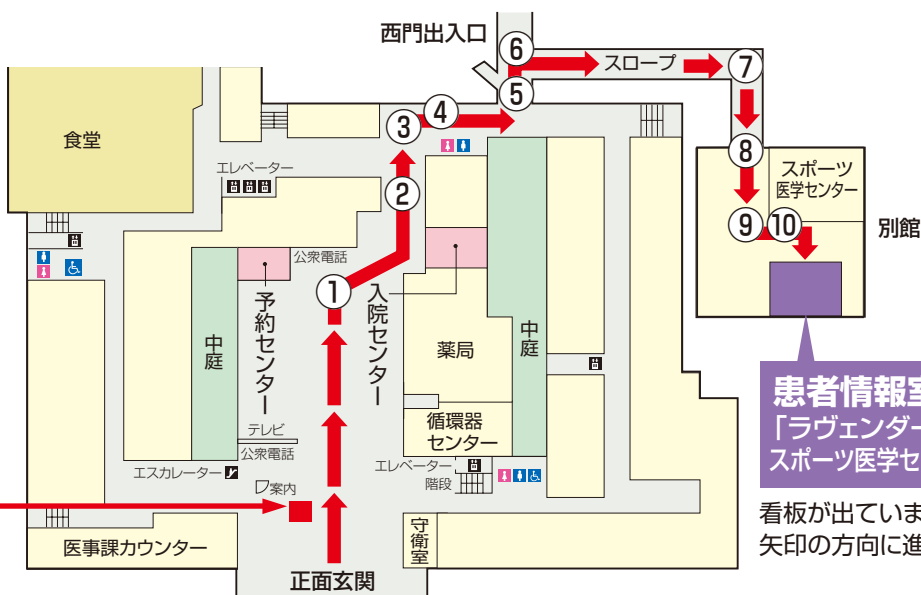
患者情報室とは

患者さんが医療の情報を得たり、
自己学習の場として、
また、病院内でゆったりとした
気分になっていただける空間と
して無料でご利用いただける
施設です。

OPEN 月～土 火・土は病棟巡回の
ため休室の場合あり

※ 開室時間は院内の掲示か、
お電話でご確認ください。
(通常 11:00～16:00)
TEL 06-6441-5451(代)

場 所 別館 1 階
(スポーツ医学センター横)



患者情報室
「ラヴェンダー」です
スポーツ医学センター向かい

看板が出ています。
矢印の方向に進んでください。

返却ボックス

開室時間以外の図書の
返却はこちらへ

かかりつけ医さん こんにちは

いしみ歯科

院長 石見 隆夫

〒554-0002 大阪市此花区伝法5-4-59

TEL 06-6461-0418

FAX 06-6462-0418

ホームページ <http://www.myclinic.ne.jp/ishimi/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	—	○	※1
15:00~19:00	○	○	○	—	○	※2

※1: 土曜日の午前は 9:30~12:00
※2: 土曜日の午後は 13:00~17:30



●阪神電車なんば線「伝法駅」下車、徒歩2分

診療科目
歯科/小児歯科/歯科口腔外科/矯正歯科

往診
有

休診日
木曜・日曜・祝日

駐車場 有(7台)



石見先生「お口の健康と笑顔を守ります。お気軽にご相談ください。」

私は1984年に西村敏治 元歯科部長がインプラント（人工歯根療法）の拠点病院として活躍の頃、非常勤歯科医師として大阪厚生年金病院に勤務をしていました。その時元部長とともに全国に先駆け社団法人日本口腔インプラント学会の指定研修施設として認定を受けたインプラントの専門医を育てる施設を病院内に作りました。残念ながら今年から認定施設は他の施設に移動することになりましたが、今後藤本佳之部長との連携を密に地域医療に専念していききたいと思います。よろしくお願いします。

前谷耳鼻咽喉科クリニック

院長 前谷 修

〒554-0002 大阪市此花区伝法1-3-17 一吉ハイツ1階

TEL 06-6465-4133

FAX 06-6465-4133

ホームページ <http://www.maetani-clinic.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—



●阪神なんば線「千鳥橋」駅、「伝法」駅下車、徒歩5分

診療科目
耳鼻咽喉科/アレルギー科

往診
無

休診日
木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場 有(4台)



前谷先生



とてもきれいなクリニックで、皆様のお越しをお待ちしています。

当院は2007年、此花区高見に開院し、微力ながら地域医療に努めて参りましたが、元々狭かった医院がいよいよ手狭になったため、今年2011年5月、縁あって、近接の伝法に移設しました。

新医院では、キッズコーナーのある、ゆったりとした明るい待合室と、余裕のある診療スペースで、着実な検査、治療を行っていきます。

また今後も、信頼する大阪厚生年金病院と益々連携をとりながら、患者様に喜んで頂ける診療所にしていききたいと思います。よろしくお願い致します。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

前田ファミリークリニック

院長 前田 憲作

〒553-0007 大阪市福島区大開3-1-2 野田パークマンション1階

TEL 06-6464-1527

FAX 06-6464-1528

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
15:30~18:00	○	○	○	○	○	○



●JR 環状線「野田」駅、JR 東西線「海老江」駅、
阪神「野田」駅、地下鉄千日前線「野田阪神」駅
下車、徒歩 8 分

診療科目
循環器科/小児科/内科
/皮膚科

往診
有

休診日
土曜午後・日曜・祝日

駐車場 無



前田先生(左から2番目)とスタッフの皆さん



当院は2005年に福島区大開で開院し、赤ちゃんからお祖父ちゃんお祖母ちゃんまで、御家族みなさんのかかりつけ医となるべく診療に頑張っています。また医療費軽減も考え、信頼できるものはジェネリック医薬品を用いた院内処方を中心にしております。

大阪厚生年金病院とは循環器科だけではなく、全般にわたり迅速なやり取りをしていただき、大変信頼できる機関病院です。

今後も地域密着での医療を心掛けていきます。

三上クリニック第一分院

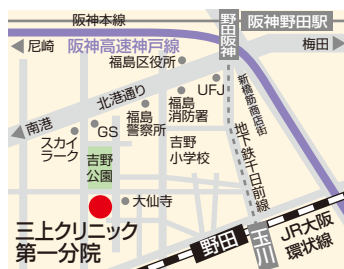
院長 矢野 文雄

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-14-15 マンションリッチ1F・2F

TEL 06-6466-3813

FAX 06-6462-0230

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~19:30	○	○	○	○	○	○
9:00~22:00	○	○	○	○	○	○



●JR 環状線「野田」駅下車、徒歩 5 分
●地下鉄千日前線「玉川」駅下車、徒歩 7 分
●阪神「野田」駅下車、徒歩 10 分

診療科目
内科

往診
無

休診日
日曜

駐車場 無
透析外来のみ、送迎有り。



矢野先生(前列中央)とスタッフの皆さん

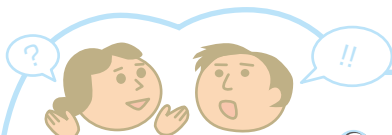


当院は、外来血液透析専門のクリニックです。

患者様に安心して血液透析を受けていただけるよう、透析専門医とスタッフが一丸となって透析治療に専念しています。

患者様の中には透析以外に合併症をお持ちの方もおられますので、専門治療や入院治療が必要な場合には大阪厚生年金病院と連携させていただいています。

地域の皆様に愛され、信頼いただける透析クリニックでありたいと願っています。



患者相談室

Open Win/d より
オープン・ウィンド

2010年11月から2011年3月まで投書箱、「みなさまの声」に寄せられた件数は131件で、患者相談室に寄せられた相談等は全部で152件です。
その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q

【整形外科】午後の診察開始時間が毎回遅れていると思われます。予約開始時刻に合わせて来ているのに、医師が遅れて来るのはいかななものでしょうか！

A

調査の結果、特定の医師について、診察時間に遅れる傾向が見られたので、患者さんに迷惑をかける様、時間厳守を指導いたしました。また、午前、午後と1日診察する場合は、午前の診察が延長し、午後診察開始の時間になっても午前の患者さんの診察をおこなっていて、午後の診察が遅れる状態があることをご理解ください。

Q

【再診受付】いつも受付のカウンターの前で4~5人がおしゃべりをしているのが気になる（ボランティアの人かなあー）

A

本院のボランティア活動は、本年15年目を迎え有志約50名が活動しております。ご指摘の「受付カウンター」は、ボランティアメンバーの連絡拠点となっており、ここから各方面に向くシステムをとっております。指示・連絡は最小限に止めて素早く動ける体制づくりをすすめており、「私語はやめましょう」「服装・態度に気をつけましょう」等の注意喚起をはかり、会員に徹底してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

Q

精神神経科に厄介になっている者です。昨年12月頃から気になっていました。毎日朝9時頃から昼頃まで酔い冷ましに1階のテレビ前に来ている髭づらの男の人がいます。（ホームレスか？）昨日も同じ場所に!!
1週間ほど前、入院する人達で沢山の人達に変な顔をして囁きあっていました。守衛さんにぜひともよろしく。

A

警備員が院内を定期的に巡回していますが、今後は更に巡回を強化し、患者さんの安心安全のために対応してまいります。ご指摘ありがとうございました。

Q

耳の聞こえにくい人だけでなく、希望者にも呼び出し用のポケベルを借してほしい。
長時間ソファに座り続けて順番を待つのは元気な者だけが出来ることで、体調が悪くて来院している者に、診察日の度に「何時間もじっとしとれ」ということほど酷なことはない。

A

ポケベルの貸出しは、現在は聴覚に障害を持っている患者さんに限らせていただいております。待ち時間が長くなっている時には、直接説明やお声がけをするようにしております。体調が悪い時には、診察の順番なども考慮させていただきますのでご遠慮なく受付に申し込んでいただきますようお願いいたします。



《重要なお知らせ》病院敷地内 全面禁煙

当院は病院敷地内全面禁煙です。

各種教室

マタニティクラス

問 大阪厚生年金病院（産婦人科病棟）
☎ 06-6441-5451（代）

- 開催日／毎月第1、2、3水曜日、第4金曜日
- 時間／9:30～11:30
- 費用／1,000円（3回分）
- 場所／当院2階 第1会議室
- 13:30～15:30
- 予約制

腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院（血液浄化センター）
☎ 06-6441-5451（内線2667）

- 時間／13:30～14:30
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- 場所／当院2階 第1会議室
- ※4月と8月と12月は休会：開催なしです。
- 費用／無料

開催日	テーマ	対象	担当
9月22日（木）	慢性腎不全の食事療法（エネルギーのとり方の工夫）	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養部
10月27日（木）	腎臓を長持ちさせるために ①慢性腎不全とは ②日常生活で注意すること	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	医師
11月24日（木）	慢性腎不全の食事療法（カリウム、塩分制限の工夫）	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養部

レッツ！糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線2274）

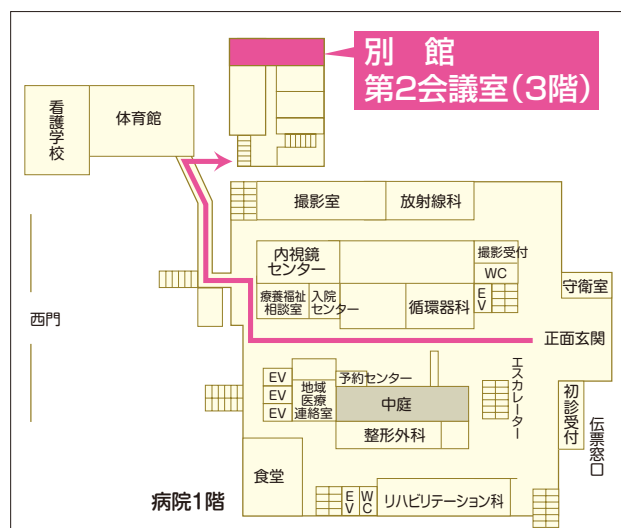
- 時間／14:00～16:00
（受付は13:45から）
- 場所／当院2階 第1会議室
- 費用／無料
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- ※8月は休講
- 注）11月は第1月曜日に開催します。

開催日	テーマ	担当
9月1日（木）	糖尿病の神経障害と動脈硬化…………… 合併症の検査…………… 動脈硬化を防ぐための薬……………	医師 検査技師 薬剤師
10月6日（木）	糖尿病における皮膚疾患…………… 足の手入れ（フットケア）のしかた……………	医師 看護師
11月7日（月）	食習慣を見直そう！…………… 歯周病の予防…………… 食事療法の実践②食品構成表を使って……………	医師 歯科衛生士 管理栄養士
12月1日（木）	体調が悪いと血糖値が上がる！…………… シックディの対処法…………… 年末年始の食事の工夫……………	医師 看護師 管理栄養士

禁煙教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線2274）

- 開催日／毎月第1、3水曜日
- 時間／13:00～14:00
- 場所／当院別館 第2会議室（3階）※
※別館第2会議室（3階）は、右記アクセス図をご参照ください。
- 費用／無料
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。



公開講座

どなたでも参加できます

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線 2274）

- 日 程／各開催日、テーマなどについては確定次第、院内に掲示いたします。
- 時 間／14：00～16：00
- 場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。

開催日	テーマ	担 当
9 月 10 日（土）	インターフェロン治療	伊藤部長
10 月 15 日（土）	肝臓について	内藤部長
12 月 3 日（土）	胃癌について	道田部長
2012 年 1 月 14 日（土）	インターフェロン治療	内藤部長



院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 大阪厚生年金病院（地域医療連絡室）
☎ 06-6441-5463

名 称	日 時	場 所
乳腺疾患カンファレンス	第 1・3 水曜日 17：30～19：00	2 階 第 2 会議室
手の外科診療班症例検討会	第 1 金曜日 19：00～21：00	2 階 第 1 会議室
脳卒中カンファレンス	毎 週 火 曜 日 17：00～18：30	4 階 カンファレンス室
婦人科腫瘍合同症例検討会	第 4 木曜日 17：00～18：00	2 階 第 2 会議室
臨床病理検討会（CPC）	毎月最終水曜日 17：30～18：30	看護学校視聴覚室*

※ 看護学校は、下記アクセス図をご参照ください。

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。恐縮ですが、開催日の 1 週間以内に地域医療連絡室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。

公開講演会

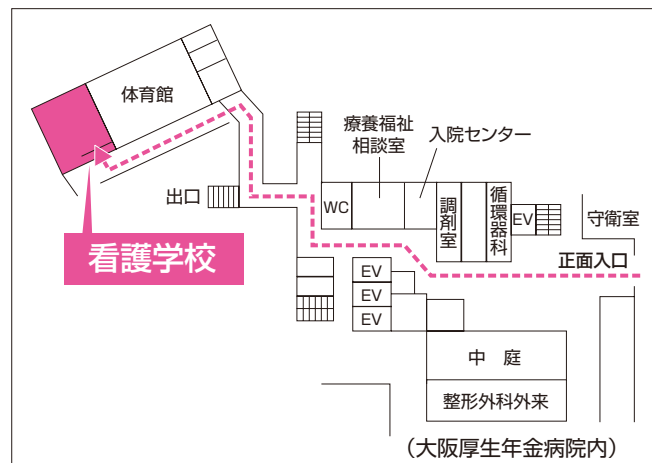
問 大阪厚生年金病院（看護部：今井）
☎ 06-6441-5451（代表）

- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- 対 象／看護師、その他医療従事者

開催日	時間	場所	テーマ	参加費用
8 月 30 日（火）	13：00～16：00	当院 2 階 第 1 会議室	ブック・ブリッジ式 お笑い研修プログラム ツッココミュニケーション	無 料
9 月 10 日（土）	1 日研修	当院 2 階 第 1 会議室	英国赤十字式 セラピューティックケア・セミナー	有 料
10 月 21 日（金）	17：30～19：00	看護学校視聴覚室	認知・高齢者看護	無 料

※ 看護学校は、下記アクセス図をご参照ください。

※ 詳細については当院ホームページもご覧ください。
(<http://www.okn.gr.jp/>)



外来診療 受付時間

8:30～11:30 (土・日・祝日を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてお待ちください。整形外科は紹介状なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日 (月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからの FAX お申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域医療連絡室 (診察予約) (受付時間 8:30～19:30)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター (検査予約) (受付時間 8:30～17:00)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- 救急科/プライマリケア教育研修センター
- 内 科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外 科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼 科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来
- 集中治療部

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/>でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診 (月曜日)、再診 (月・火・木・金曜日)

集中治療部 (ICU)

大手術後、院内重症患者さんを集中的に治療する部門です。
救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者さん等を受け入れ、治療しています。

救急科

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者さんを受け付け、24 時間手術可能です。
小児の急患も受け付けます。

内視鏡センター

問 TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療 (内視鏡的手術) を目的としています。

申 かかりつけ医の先生から FAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5451 (内線2158、2159)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。
退院後の療養施設の紹介や、介護支援もおこないます。また、医療費の相談や福祉制度のご案内もおこなっています。

スポーツ医学センター

問 (06) 6441-5451 (内線3101)

月・火・金・土 9:00～17:00

水・木 9:00～20:30

E-mail: spocen2005@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。
安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

申 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック

問 ドック相談室

TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 医事課 TEL (06) 6441-5451 (内線2144)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

NICU (新生児集中治療室)

問 NICU当直医

TEL (06) 6441-5451 (代)

24 時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院にも対応し、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム

問 かかりつけ医の先生専用

地域診療所・助産所のシステム登録医 (かかりつけ医) と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来

問 医事課

TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日 (受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口 (①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診

問 乳腺・内分泌外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第 4 水曜日の午後 1:00 と 3:00、

毎週木曜日の午後 4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後 2:00～5:00)

女性がん検診

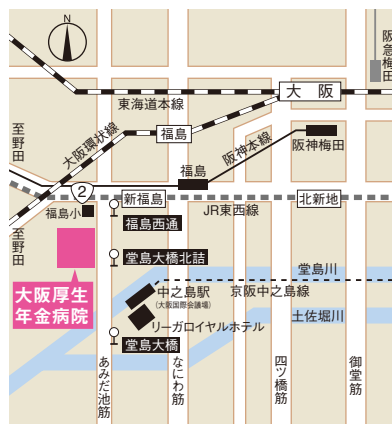
問 産婦人科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週金曜日 午後 2:00～午後 3:40

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後 2:00～5:00)



交通のご案内

- JR東西線
「新福島駅」下車 (出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 京阪中之島線
「中之島駅」下車 (出口①)、徒歩約5分
- 市バス
大阪駅前 55 → 「堂島大橋北詰」下車すぐ
大阪駅前 56 → 「福島西通」下車、徒歩5分
大阪駅前 53 → 「堂島大橋」下車、徒歩5分
- タクシー
「大阪駅」より約10分

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院 (第1号)／につけ子育て支援大賞受賞／女性のチャレンジ支援賞 (内閣府) 受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp

この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで